

CO₂を排出しない太陽光発電の推進 クリーンエネルギー供給事業

SGリアルティは、全国各地に大規模な配送拠点や流通センターを保有しています。これらの施設の屋根を活用してクリーンエネルギー供給事業(太陽光発電)に参入。環境負荷の低減および自然エネルギーの普及に貢献しています。

2013年5月、千葉県柏市にある大型物流施設「SGリアルティ柏A棟」で、太陽光発電を開始。続いて10月にはB棟でも発電を開始。双方で1.2メガワットの太陽光発電が稼働しています。

これらはSGリアルティが2013年度以降、相次いで稼働を始めるクリーンエネルギー供給事業の第1号です。

SGリアルティは、全国各地に大規模な配送拠点や流通センターを保有しており、不動産の賃貸・管理・開発事業を担っています。

今回の取り組みは、2012年7月に経済産業省を中心に運営する「再生可能エネルギーの固定買取制度」がスタートしたのをきっかけにしたもの。投資効率も考慮した事業であり、大規模な不動産資産を抱える事業者として取り組むことで、自然エネルギーの普及にも貢献しています。

具体的には、全国に約400ヶ所ある配送拠点のうち、積雪など発電が難しい地域を除き、自社所有で屋根面積が広く、発電設備の重さに耐えられる構造になっていることなどを勘案し、全国98ヶ所で太陽光発電所を運用しています。

設置総面積は約191,000平方メートル。ここに134,614枚のパネルを設置し、年間総発電量2,245万kWh超の電力を発電します。また同規模の電力を自然エネルギー以外で発電した場合のCO₂排出量は約13,383トンと想定しています。

クリーンエネルギー供給事業 太陽光発電設備の概要

- 発電拠点 : 98施設
- 発電規模 : 23.2メガワット
- 設置面積 : 約191,000平方メートル
- パネル枚数 : 134,614枚

SGリアルティ柏
(1.2メガワット)



全国クリーンエネルギー供給拠点

